

統計資料編

中津市 市勢要覧

令和元年度版



目次

位置・土地・気象	1	生活・環境	9
中津市の変遷	3	教育・文化	10
人口	5	福祉・保健	10
産業	6	行政・議会	12

※ 本資料において合併（H17.3.1）前の数値は旧市町村の数値を合算して処理しています。

位置・土地・気象

■位置

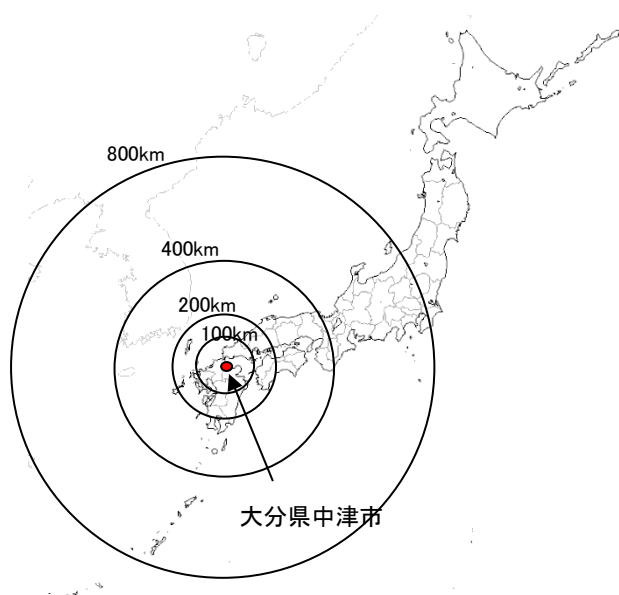
中津市は、大分県の西北端に位置し、東は宇佐市、南西は玖珠郡・日田市、北西は福岡県に接し、北東は周防灘に面しています。

面積は491.44k㎡で、市域の約80%は山林原野が占め、山国川下流の平野部にまとまった農地が開け、中津地域を中核としています。

北部は狭く南部は西方に大きく張り出した形状を示し、西側に英彦山がそびえ、地域を貫流する山国川の分水嶺となっています。



大分県



面積 491.44k㎡

市役所所在地

大分県中津市豊田町14番地3

北緯 33° 35′ 54″

東経 131° 11′ 18″

最長距離 東西 32.8km 南北 30.0km

極東 中津市大字植野

極西 中津市山国町槻木

極北 中津市字小祝

極南 中津市耶馬溪町大字深耶馬

■中津市へのアクセス



◆マイカー利用（高速道路使用）

大分空港⇒中津市 約1時間30分

北九州空港⇒中津市 約1時間10分

博多⇒小倉⇒中津 約2時間

博多⇒日田⇒中津 約2時間

大分⇒別府⇒中津 約1時間30分

◆JR 特急利用

小倉駅⇒中津駅 約35分

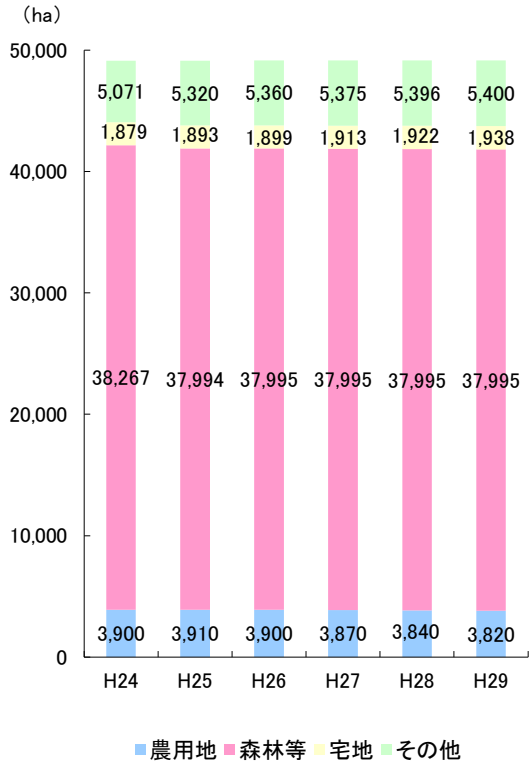
博多駅⇒中津駅(小倉経由、新幹線利用)

約1時間10分

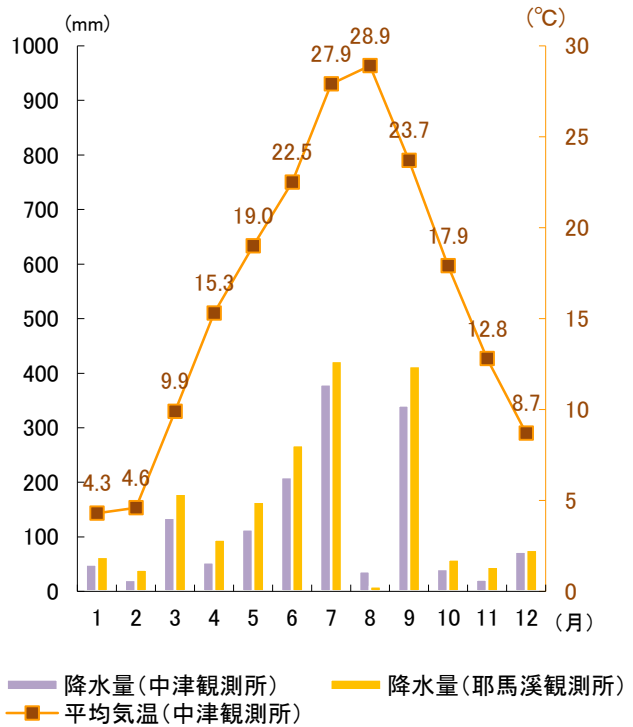
大分駅⇒中津駅 約50分

■土地の利用目的別区分の推移

(大分県統計年鑑 H30 年版)



■気温と降水量 (気象庁大分地方气象台、H30 年)



■中津市内主要道路図



中津市の変遷



中津市は、藩政の時代から明治維新以降も下毛郡として一体的な地域を形成するとともに、古くから歴史的、文化的な面においてつながりの強い地域であり、明治以前は、豊前国中津藩と天領日田代官の下にありました。古代には七つの郷があり、官道下毛駅もおかれていました。明治4年の廃藩置県により中津県、さらに小倉県、福岡県と変わり明治9年8月に現在の大分県管轄となり、中津には大分県支庁が置かれました。明治21年には63町村であった旧中津城下が旧中津町となり、明治22年の町村制施行により1町25村となりました。

その後、大正、昭和を通じて何度か合併が繰り返され市域は拡大し、平成17年3月1日に中津市と下毛郡の4町村が合併し現在の中津市となりました。



- 明治4年7月 廃藩置県により中津藩は中津県へと改称
- 明治4年11月 中津県は小倉県へと吸収合併される
- 明治9年4月 小倉県が福岡県に改称
- 明治9年8月 県の境界変更により大分県下毛郡として編入
- 明治21年7月 町村制施行により中津町と改称
- 明治22年4月 一ツ松村、宮夫村、金手村、牛神村、大新田村、東浜村が合併して小楠村となる
- 明治22年4月 蛸瀬村、大塚村、角木村が合併して大江村となる
- 明治22年4月 島田村、中殿村、下宮永村、上宮永村が合併して豊田村となる
- 明治22年4月 萬田村、高瀬村、湯屋村、永添村が合併して鶴居村となる
- 明治22年4月 大貞村、上池永村、中原村、大悟法村、加来村が合併して大幡村となる
- 明治22年4月 助部村、下池永村、是則村、合馬村、全徳村が合併して如水村となる
- 明治22年4月 福島村、伊藤田村、北原村が合併して三保村となる
- 明治22年4月 定留村、諸田村、田尻村が合併して和田村となる
- 明治22年4月 今津村、赤迫村、鍋島村が合併して桜洲村となる
- 明治22年4月 植野村、野依村、犬丸村が合併して尾紀村となる
- 明治29年3月 中津町に福岡県上毛郡高浜村大字小祝の内山国川支流以東合併
- 大正14年4月 中津町に大江村、豊田村合併
- 昭和4年4月 中津町に小楠村を合併し、中津市制を布く
- 昭和8年4月 桜洲村、尾紀村が編入して新昭村となる
- 昭和15年11月 新昭村が改称され今津町となる
- 昭和18年8月 中津市に鶴居村、大幡村、如水村合併
- 昭和26年4月 中津市に三保村合併
- 昭和29年10月 中津市に和田村合併
- 昭和30年2月 中津市に今津町合併
- 平成17年3月 中津市に下毛郡三光村、同郡本耶馬溪町、同郡耶馬溪町、同郡山国町合併



昭和 29 年 3 月 深秣村、山口村、真坂村が合併し、三村融和の発展を祈願して三和村となる

昭和 29 年 3 月 住民の公募により三光村に改称

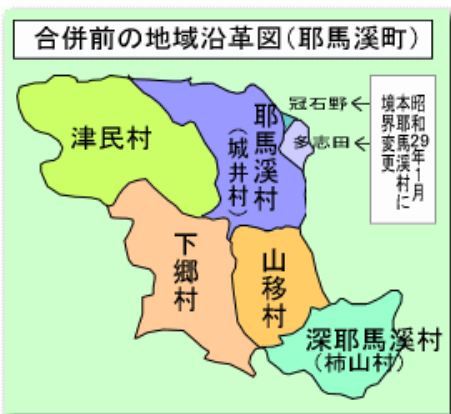


昭和 26 年 4 月 上津村、東耶馬溪村が合併し本耶馬溪村となる

昭和 29 年 1 月 境界線変更のため耶馬溪村の一部が本耶馬溪村に移行

昭和 29 年 3 月 本耶馬溪村に東谷村、西谷村合併

昭和 34 年 11 月 本耶馬溪村が本耶馬溪町に改称



昭和 26 年 4 月 津民村、下郷村、山移村が合併し中耶馬溪村となる

昭和 28 年 4 月 中耶馬溪村に耶馬溪村(旧城井村)が合併

昭和 28 年 9 月 中耶馬溪村が耶馬溪村に改称

昭和 29 年 3 月 耶馬溪村に、深耶馬溪村が合併

昭和 40 年 4 月 耶馬溪村が耶馬溪町に改称

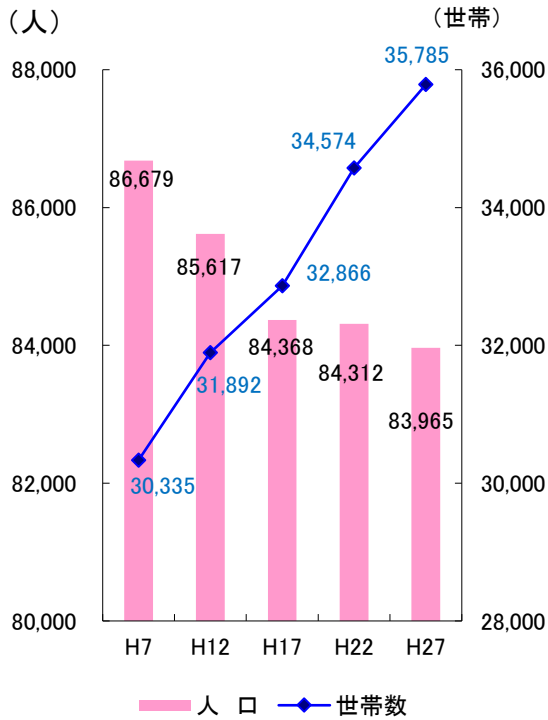


昭和 26 年 4 月 溝部村と槻木村と三郷村が合併し、山国村となる

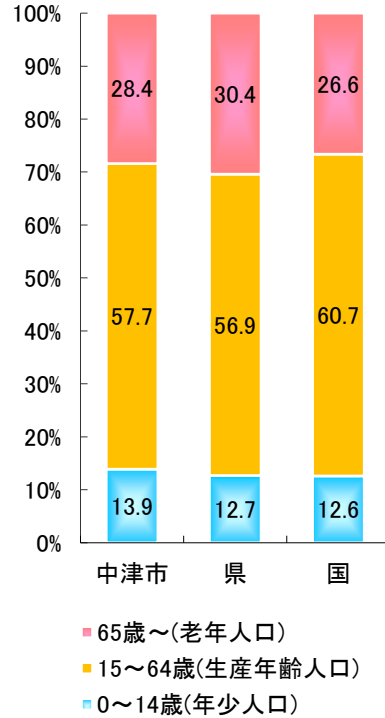
昭和 33 年 4 月 山国村から山国町と改称

人 口

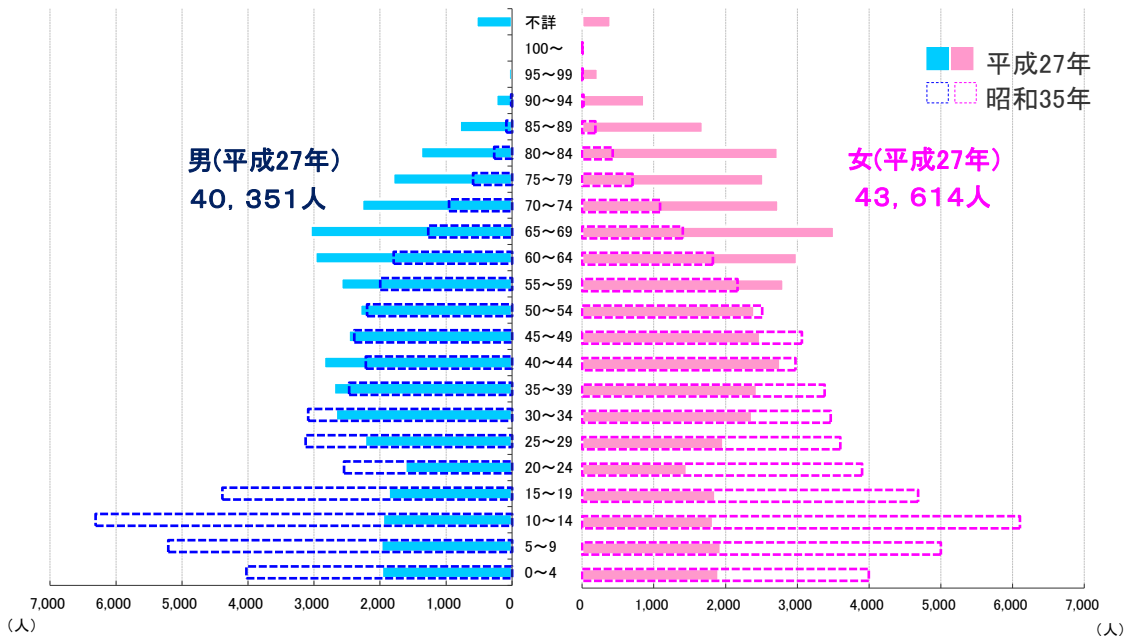
■人口・世帯数の推移(国勢調査)



■中津市及び国、県の人口割合(H27国勢調査)

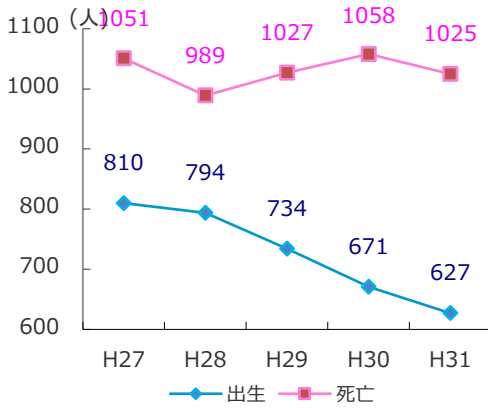


■5歳階級別人口構成(S35年、H27年国勢調査)

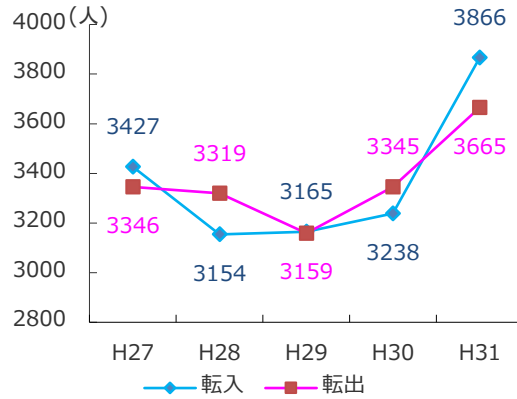


■人口動態の推移(大分県毎月流動人口調査)

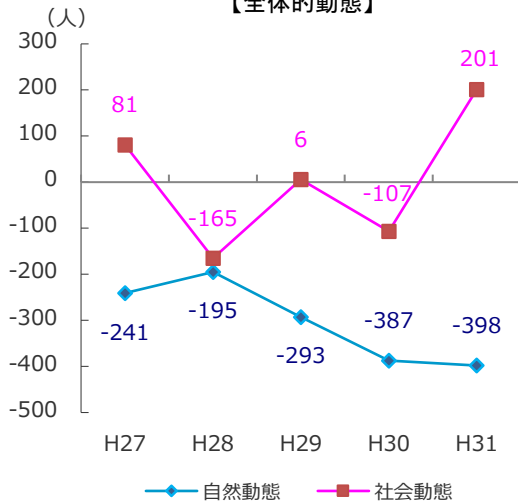
【自然動態】



【社会動態】



【全体的動態】



自然動態:「出生数>死亡数」の場合は「人口増」
 「出生数<死亡数」の場合は「人口減」

社会動態:「転入数>転出数」の場合は「人口増」
 「転入数<転出数」の場合は「人口減」

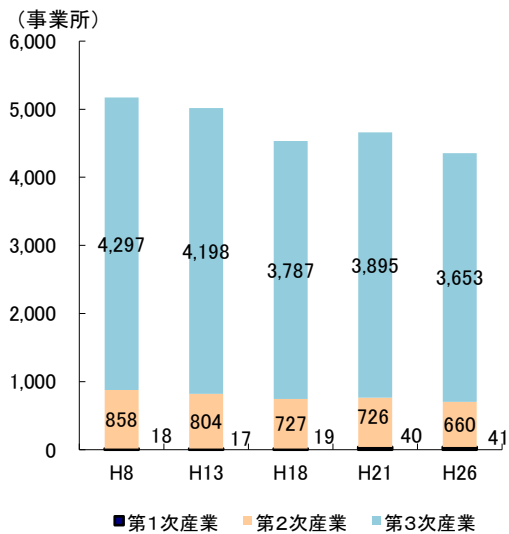
全体的人口動態=自然動態+社会動態

※年の区切りは毎年、前年の10月1日から
 当該年の9月30日まで

産 業

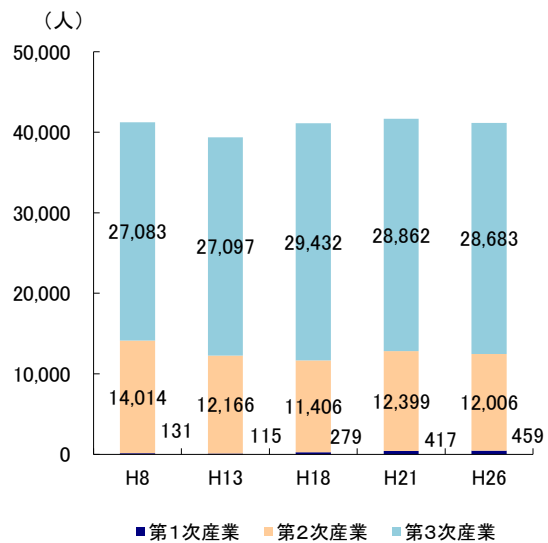
■産業3分類別事業所数

(事業所・企業統計調査、経済センサス-基礎調査)

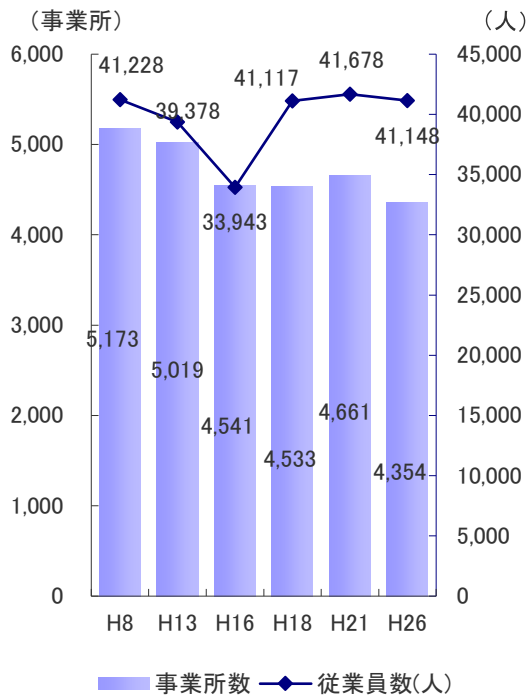


■産業3分類別従業者数

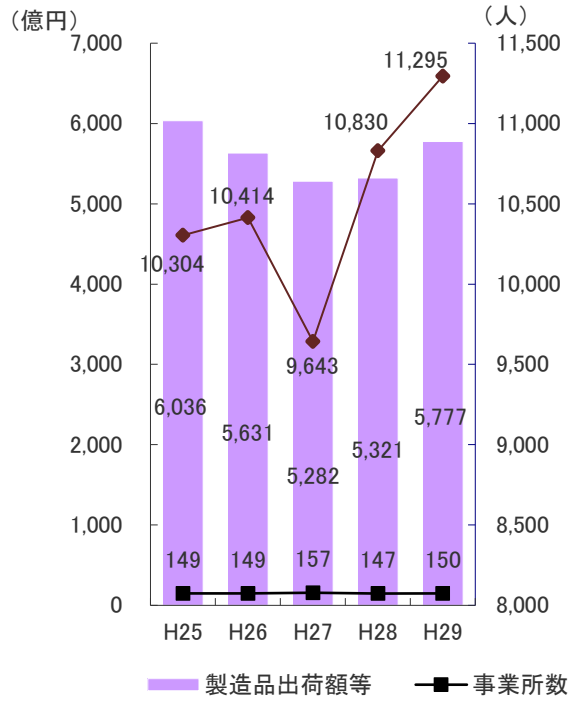
(事業所・企業統計調査、経済センサス-基礎調査)



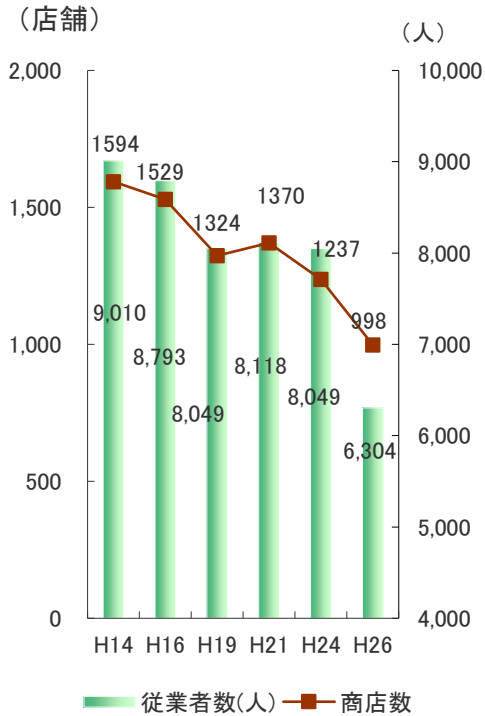
■事業所及び従業員の推移
(事業所・企業統計調査、経済センサス-基礎調査)



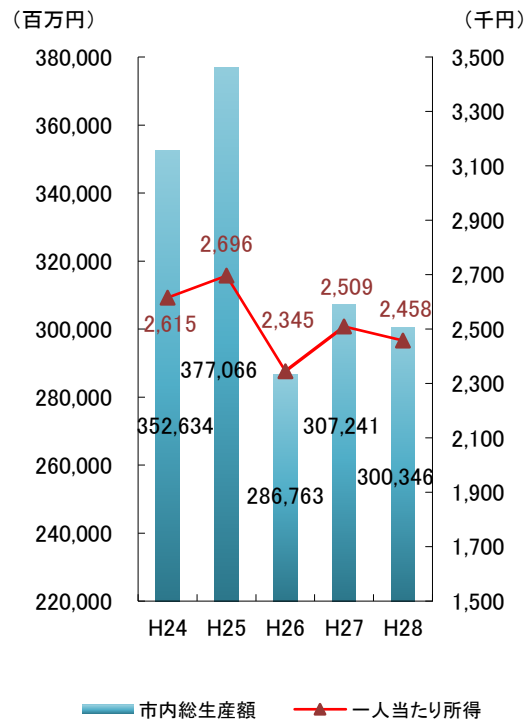
■工業[製造業]の推移
(工業統計調査、経済センサス-活動調査)



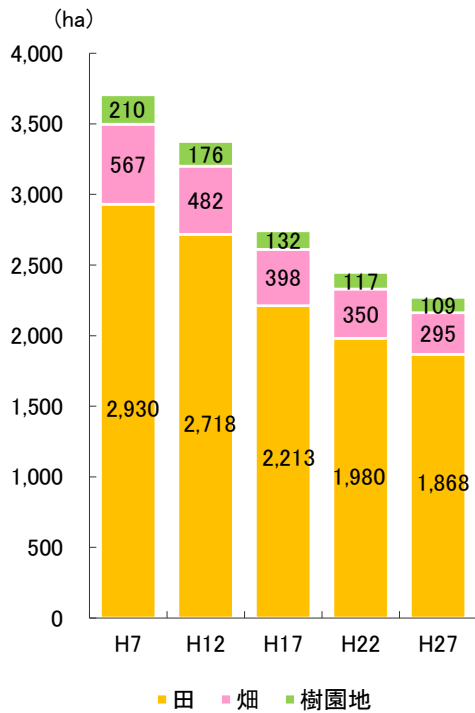
■商業[卸売・小売業]の推移
(商業統計調査、経済センサス)



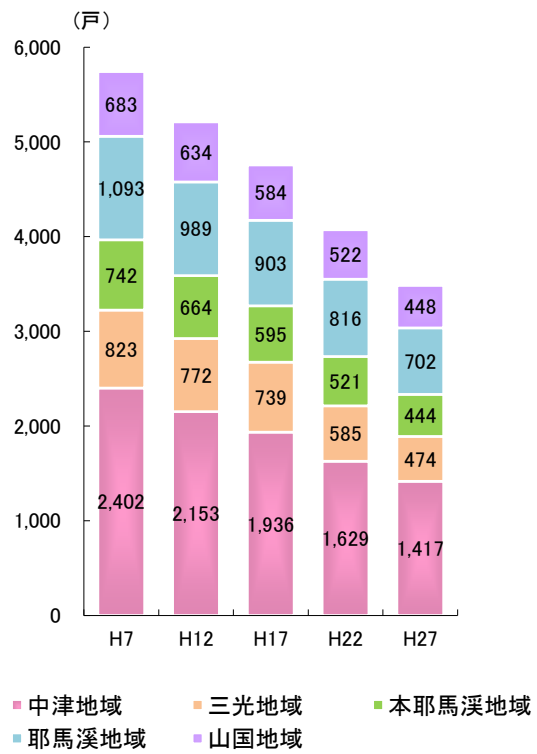
■市民総生産、1人あたり市民所得の推移
(大分の市町村民経済計算)



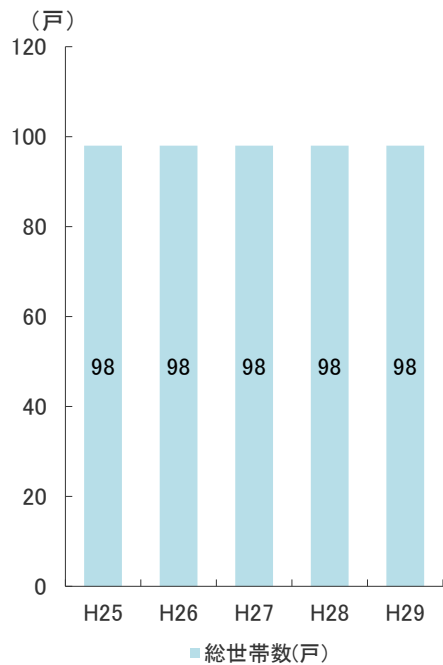
■地目別経営耕地面積の推移(農林業センサス)



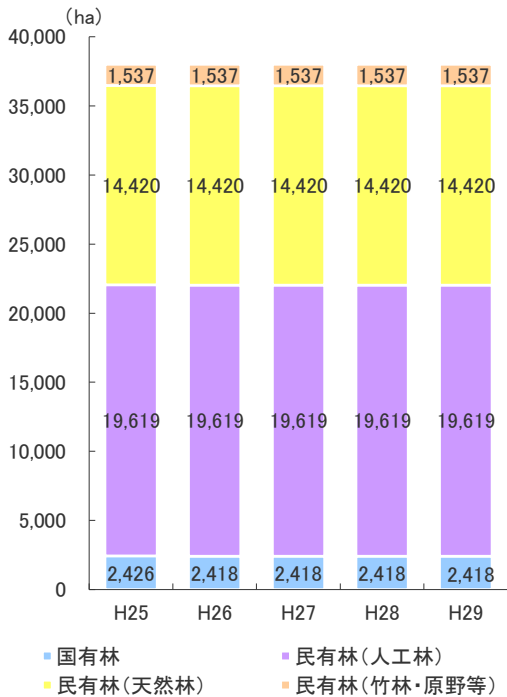
■農家数の推移(農林業センサス)



■漁業経営体の推移(林業水産課)

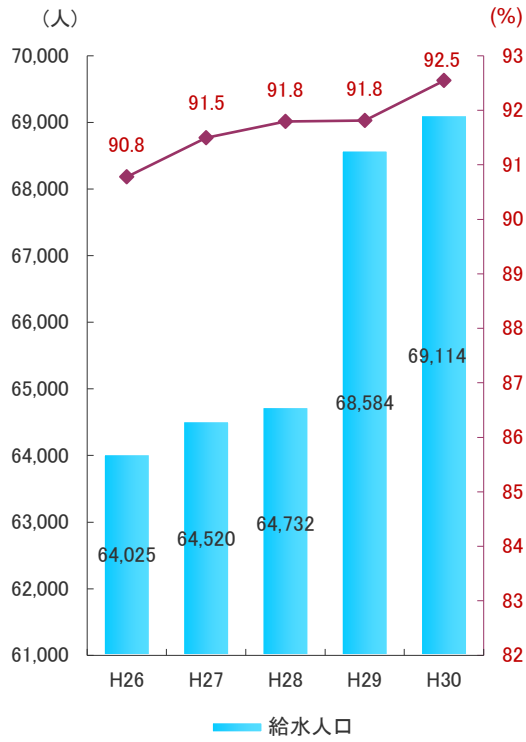


■林野面積の推移(大分県林業統計)

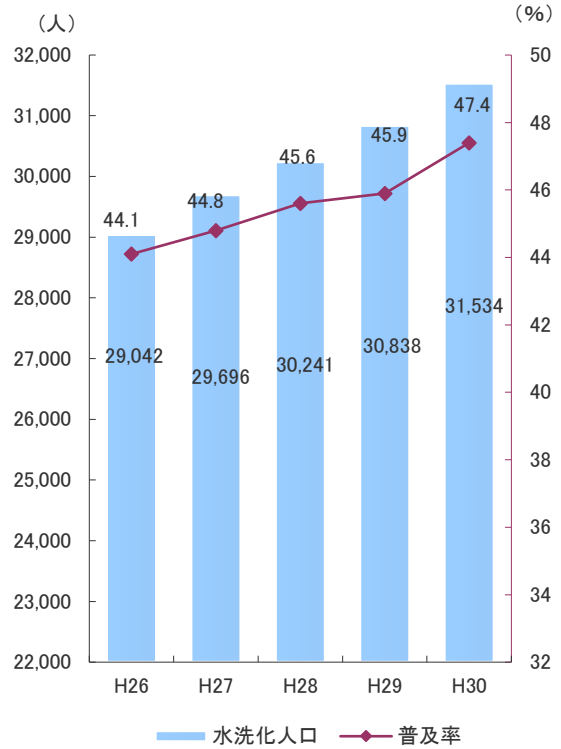


生活・環境

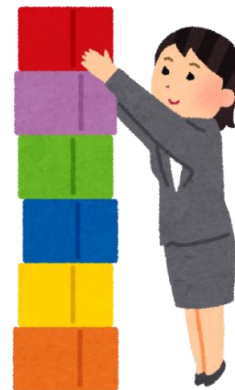
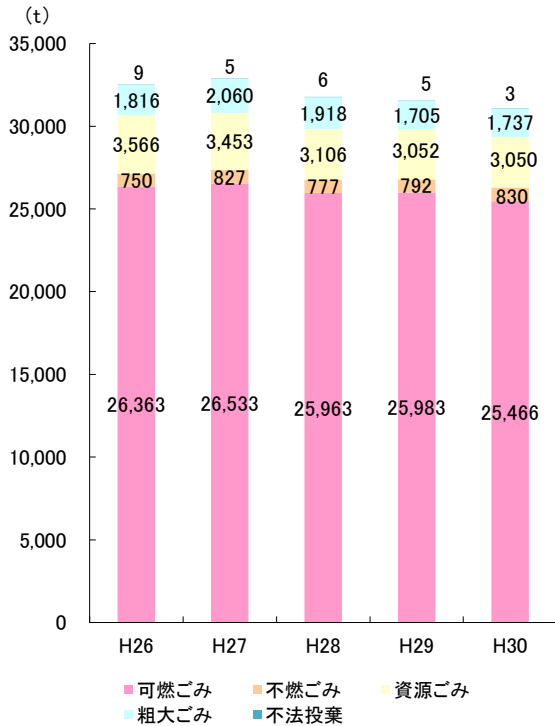
■上水道の状況(上下水道部)



■下水道+農業集落排水の状況(上下水道部)



■ごみ処理の状況(清掃課)

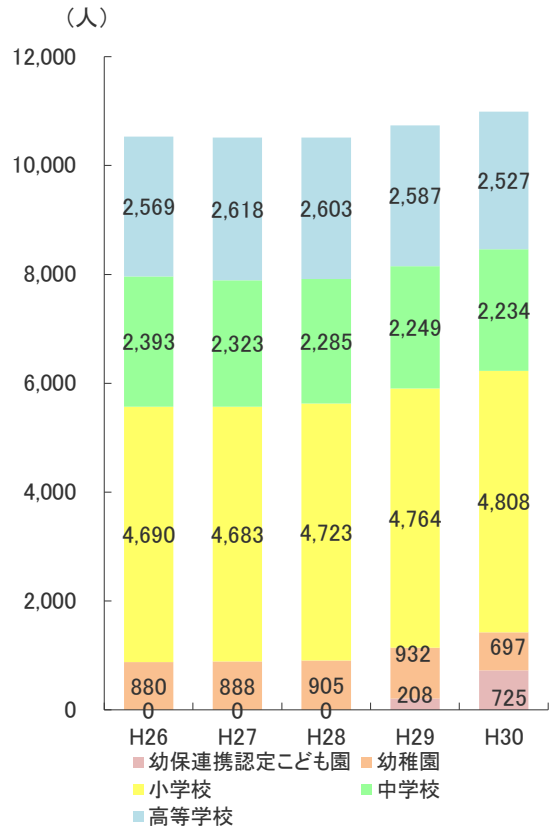


教 育 ・ 文 化

■学校の状況(H30学校基本調査)

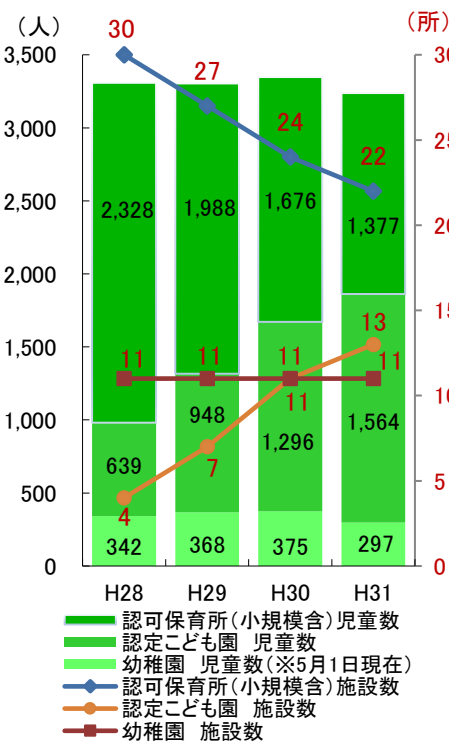
		H30	
		園・校数	人数
幼稚園	私立	2	322
	公立	11	375
	小計	13	697
幼保連携型 認定こども園	私立	6	725
	公立	0	0
	小計	6	725
小学校	公立	21	4,808
中学校	公立	10	2,234
高等学校	私立	1	643
	公立	4	1,884
	小計	5	2,527
合計		55	10,991

■園児・児童・生徒数の推移(H30学校基本調査)

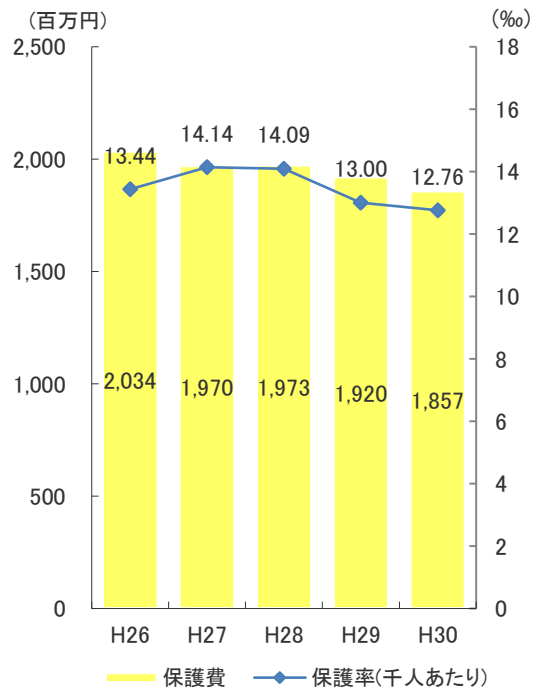


福 祉 ・ 保 健

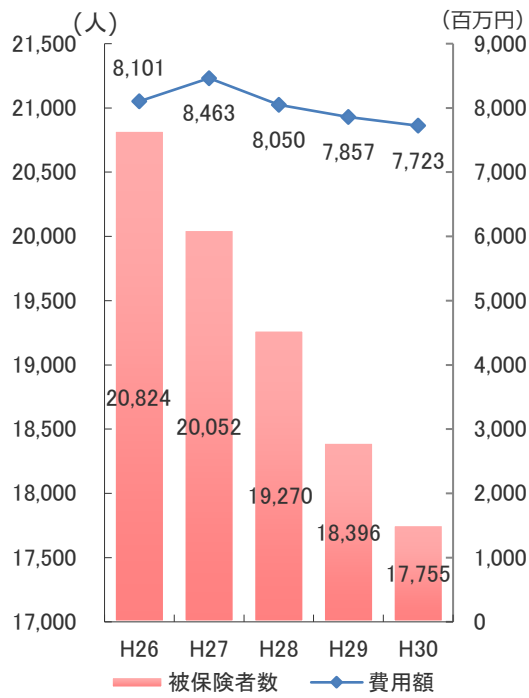
■未就学児の状況(子育て支援課、各年4月1日現在)



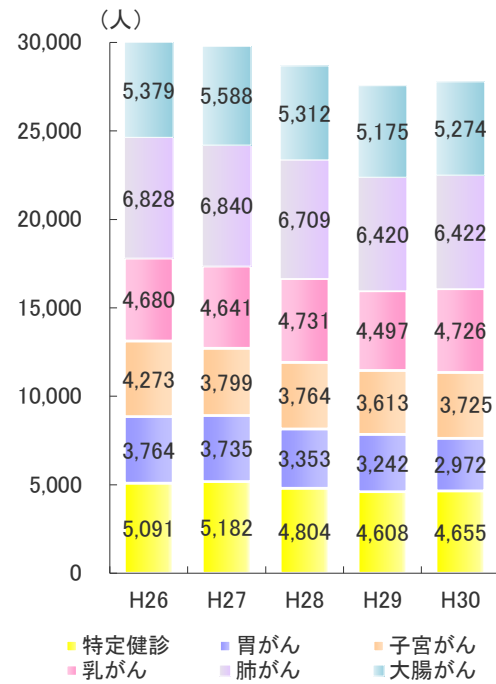
■生活保護の状況(社会福祉課)



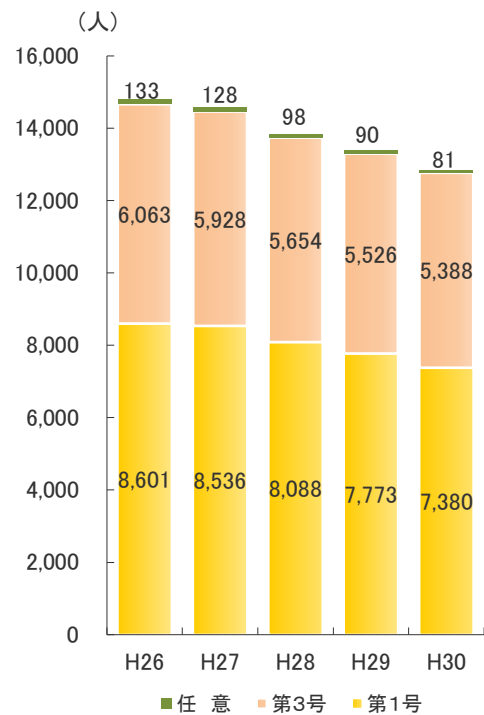
■国民健康保険の状況(保険年金課)



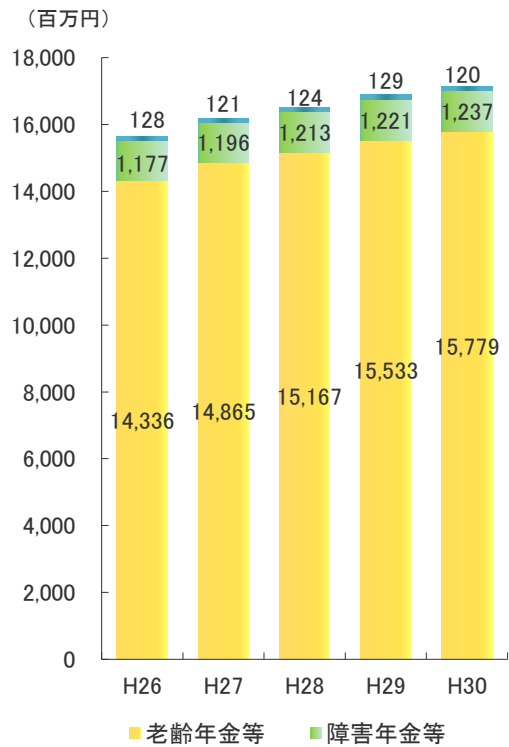
■住民健診の状況(地域医療対策課)



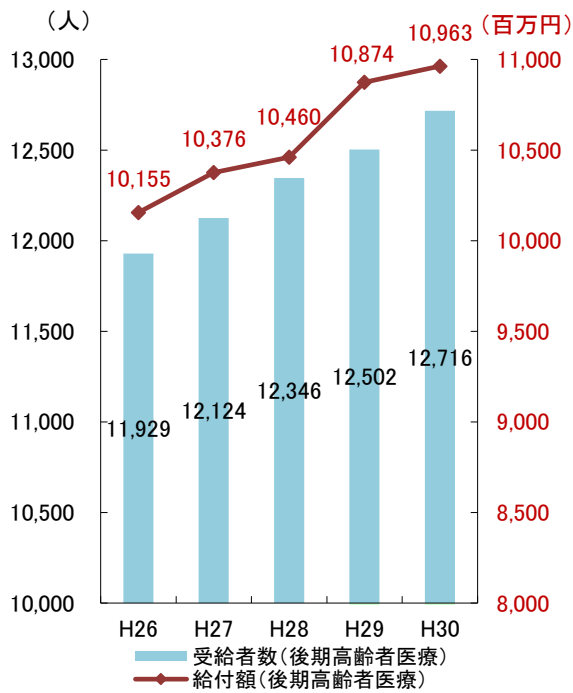
■国民年金の加入状況(保険年金課)



■国民年金の給付状況(保険年金課)

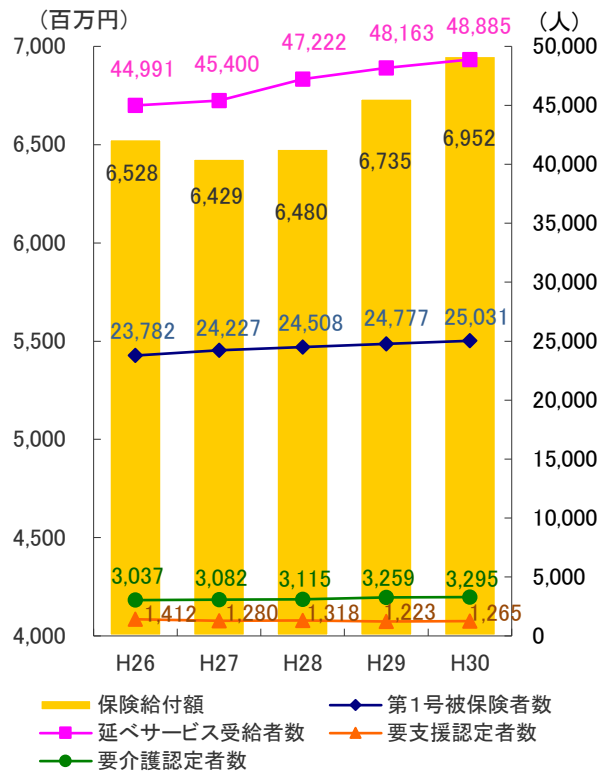


■後期高齢者医療の状況(保険年金課)



※H20年度より老人保険制度に代わり後期高齢者医療制度が

■介護保険の状況(介護長寿課)



行政・議会

■特別職(H31.4.1)

	氏名	就任
市長	奥塚 正典	平成27年11月17日
副市長	前田 良猛	平成29年4月1日
教育長	栗田 英代	平成31年4月1日

■職員数(H31.4.1) (単位:人)

一般行政	特別行政	公営企業	計
528	232	435	1,195

■議会(R1.5.13)

	氏名	就任
議長	山影 智一	令和元年5月13日
副議長	相良 卓紀	令和元年5月13日

■常任委員会の構成(R1.5.13) (単位:人)

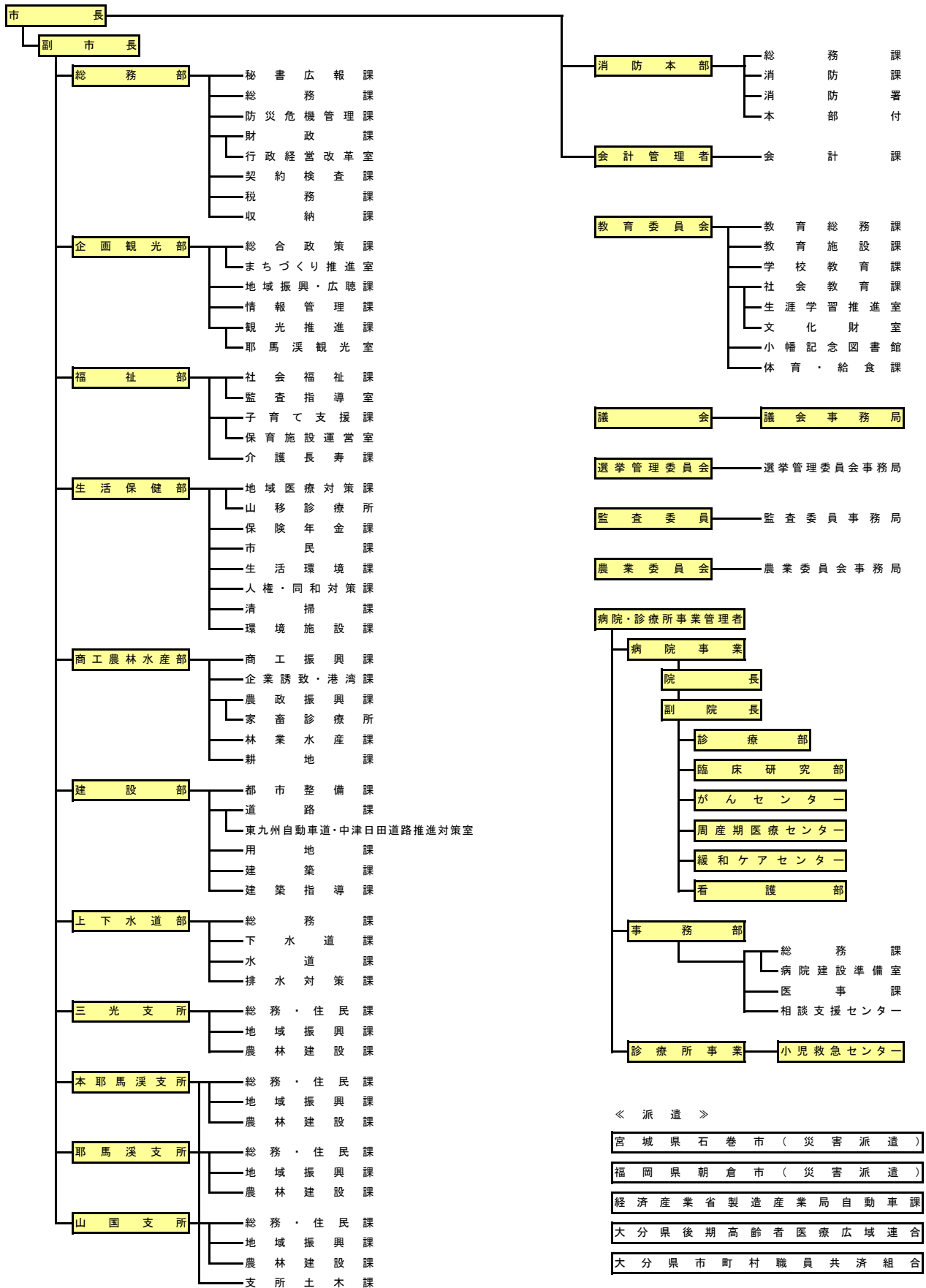
総務企画消防	教育産業建設	厚生環境	広報広聴
8	8	8	9

■公共施設の状況

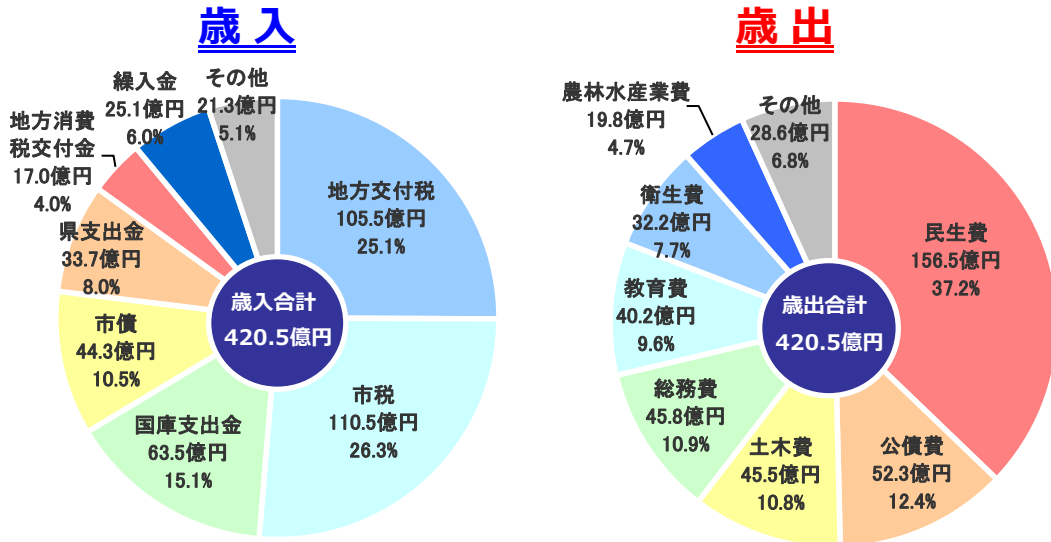
(H30年度公共施設状況調査)

		H30
市道	実延長	896,745m
	改良率	74.7%
農道	延長	352,154m
林道	延長	236,816m
都市公園	箇所数	27
	面積	568,598m
市営住宅	戸数	1,427
漁港数		1
養護老人ホーム		1ヶ所
特別養護老人ホーム		1ヶ所
公民館等		25ヶ所
市民会館等		3ヶ所
児童館		4ヶ所
文化センター		2ヶ所
図書館		5ヶ所
体育館		8ヶ所
陸上競技場		2ヶ所
病院		1ヶ所
診療所		4ヶ所

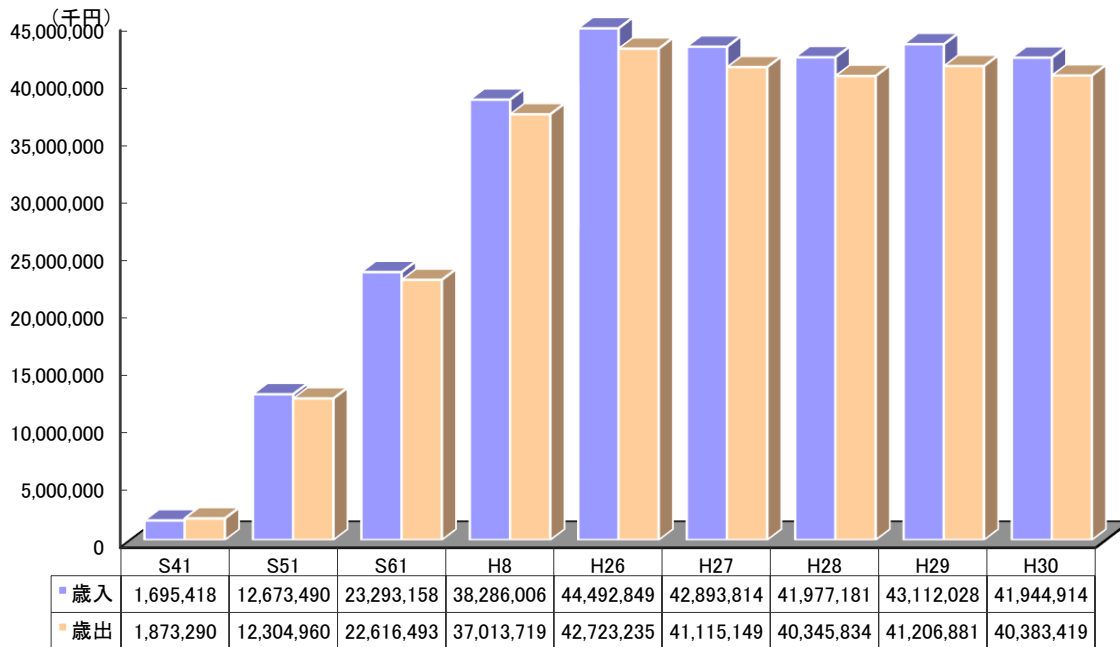
■行政組織図(H31.4.1現在)



■一般会計予算(H31年度当初)



■一般会計決算の推移



(注)S41年度は、旧中津市が赤字再建団体期間であったため、歳出が歳入を上回る。

■特別会計予算(H31年度当初)

(単位:千円)

国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	9,242,599
国民健康保険事業特別会計(直診勘定)	221,281
農業集落排水事業特別会計	322,560
介護保険事業特別会計(保険事業勘定)	7,722,528
介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)	13,288
小規模集合排水事業特別会計	1,598
サイクリングターミナル事業特別会計	11,236
後期高齢者医療特別会計	977,041
ケーブルネットワーク事業特別会計	235,991
計	18,748,122

市章



(昭和5年5月8日制定)

【由来】

中津城の周囲の地形が扇の形をしていたことから、別名扇城とも呼ばれていました。

本市章は、中津市の中の字をこれになぞらえ、扇形に配したもので、市民の協調を表現しています。

■中津市役所

本庁	〒871-8501 大分県中津市豊田町14番地3 TEL 0979-22-1111 FAX 0979-24-7522
三光支所	〒871-0192 大分県中津市三光原口644番地7 TEL 0979-43-2050 FAX 0979-43-2737
本耶馬溪支所	〒871-0295 大分県中津市本耶馬溪町曾木1800番地 TEL 0979-52-2211 FAX 0979-52-2427
耶馬溪支所	〒871-0405 大分県中津市耶馬溪町大字柿坂138番地1 TEL 0979-54-3111 FAX 0979-54-2646
山国支所	〒871-0795 大分県中津市山国町守実130番地 TEL 0979-62-3111 FAX 0979-62-2590

発行 / 中津市 企画観光部 情報管理課 情報管理係 令和2年2月

中津市ホームページ URL <http://www.city-nakatsu.jp/>